

中学年体育指導案

授業者 服部 行男

1. 日時 平成25年11月21日(木) 6時間目
2. 場所 島本町立第一小学校 運動場 (雨天時 体育館)
3. 学年・組 4年2組(33名)
4. 単元名 「ボール運動」(タグラグビー)
5. 教材観

タグラグビーは鬼遊びからの発展でボールを持って走る事が個人技術の基本になり、得点方法もインゴールエリアに入りボールを置くだけ(もしくは走りこむだけでも可)の易しい運動である。そのため運動が苦手な子も参加しやすく、攻守が連続して入れ替わる運動量の豊富さから、自然とチーム全員が走りまわる必要性が出てくる。多様な動きにより、体力の向上のみならず、敏捷性やバランス感覚の発達が期待できる。

また、用具としては楕円球の転がり方、ハンドリングが新鮮であるとともに、タグの使用による明確な攻守の判定から、ディフェンスの重要性が確認しやすい。

チームで取り組み、作戦を立て実行していくことによる集団的達成感も味わうことができ、「One for All All for One」「No side」というキーワードを軸に、支え合うことの大切さ、勝ち負けを受け止める公平な態度を養うことができる。

6. 児童観

本学級は男子19名・女子14名。運動は2極化が激しく、休み時間には外で走り回り、休日にも運動系の習い事をして過ごす活発な児童と、教室で過ごすのが好きな児童とにはっきり分かれている。一学期からの取り組みの中で、リレー・器械運動などを通じて全力を出すことを楽しんだり、個人技能に関してある程度の達成感を積み重ねてきたようには感じる。表現運動やプロジェクトアドベンチャーの取り組みでは、集団として一つにまとまり、高め合う感覚も共有してきた。しかし、自分の運動能力に自信の持てない児童の割合はまだ多く、ボール運動においてもそれは顕著に見られる。

7. 指導観

体育という教科はその性質上、いつもできる・できないことの結果がはっきりと集団の前に露になる。それ故に、授業を通して仲間と支え合うこと、互いの存在を認め合うことの大切さを感じてほしいと願い取り組んできた。そのための手立てとして、

- ① 分かりやすい、段差の少ないカリキュラム・場づくり。
- ② 手本・映像振り返りにはじまる学び合い活動（児童同士の活動・声が授業の中心になる）の二点を大切にしてきた。今回の単元では更に、
- ③ ふり返りを重視することで、自分の成長を確認し、自信に繋げ、運動への意欲を育む。ということも意識している。

ラグビーという競技については、このクラス全員が初めて取り組む運動であり、やさしい基本技術で取り組めるという利点を生かし、個々人が自分に合ったプレイスタイルを見出せるよう、ディフェンス→ランプレー→パスプレーという流れでゲームを発展させていく。オフサイドの競技特性は難しいと思われるので、特に意識してハンバーガーラン等で練習に取り組む。作戦は、戦術的状況判断が連続的で難易度が高いことから、セットプレーからの一局面や、個人の役割、目標を共有していくといった方向になると考えられる。

ふり返り、学び合い活動の中では『自分が何を目指し、何ができたのか』という観点を大切にし、仲間の姿を紹介して勇気づける中で、メタ認知を促し、自信を高め、意欲に繋げたい。

単元を通して、競技の持つキーワード「One For All All For One」「No side」を軸に仲間と支え合う・認め合う集団へと育て、運動に対する安心感を保障すると共に、技能向上、ふり返り活動を通して、児童一人ひとりの自信に繋がるような授業を展開したい。

8. 単元の評価基準

関心・意欲・態度	技能	思考・判断
①互いに協力し、励まし、高め合いながら運動に取り組むことができる。 ②健康や安全に注意して運動を楽しむことができる。	③相手をかわしたり、相手のいないところに走りこんだりすることができる。 ④パスをもらったり、空いている味方にパスをしたりすることができる。	⑤授業やチームのめあてにそった自分のめあてを立て、それに対してふり返りをすることができる。

9. 単元の指導計画

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	8	9
0	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合VTR紹介 ・授業準備の確認 5人(6グループ) 男女混合 グループ間等質・内異質 <p>めあて①: ボールを持って思いっきり走ろう</p>	<p>○準備運動 (チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円陣パス (内・外) ・ハンバーガーラン ・渡り鳥パス (パスの動きづくり) <p>めあて②: ボールを持ったら、タグをとられるまで前へ走ろう</p> <p>めあて③: パスしたら、ボールを持っている人の後ろへまわろう</p> <p>めあて④: タグを取られたらすぐにパスをしよう</p>			<p>○準備運動 (チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円陣パス (外) ・2対1 <p>めあて⑤: パスを使って相手を抜いてみよう</p> <p>めあて⑥: パスを使った作戦をやってみよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動 ・円陣パス (外) ・3対2 <p>めあて⑦⑧: 作戦をたてて試合で使ってみよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動
10	<p>○準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグとり鬼 (DFに慣れる) 	<p>○タグラグビーに繋がる練習 (ラン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール運び鬼 			<p>○タグラグビーに繋がる練習 (パス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3対2 (パスを使う動きづくり) 				
20	<p>○ボールやタグに慣れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円陣パス (ボール慣れ) ・ハンバーガーラン (オフサイドの感覚) ・ボール運び鬼 (ランの動きづくり) 	<p>○試しのゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分 × 3 試合 (ゲームの成立) (ランの動きを意識) (速いテンポ) 			<p>○試しのゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分 × 3 試合 (コートを広く使った展開) (パスを使った作戦を意識) 		<ul style="list-style-type: none"> ・リーグ戦 ・5分ハーフ × 3 試合 		<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビー大会
30									
40	<ul style="list-style-type: none"> ・整理運動 ・振り返り 								

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・互いに協力し、励まし、高めあいながら運動に取り組むことができる。(関心・意欲・態度) ①
- ・健康や安全に注意して運動を楽しむことができる。(関心・意欲・態度) ②
- ・パスをもらったり、空いている味方にパスをしたりすることができる。(技能) ④
- ・授業やチームのめあてにそった自分のめあてを立て、それに対してふり返りをする事ができる。(思考・判断) ⑤

(2) 展開

	学習活動	授業者のねらい	予想される児童のつまずきと授業者の支援		評価の観点
導入 10分	○準備運動 ・円陣パス ・渡り鳥パス めあて⑥: パスを使った作戦をやってみよう	・怪我の予防 ・パスとキャッチの感覚を掴む。 ・声を出してパスを呼ぶ。 ・ボールをもったら前に出る感覚を掴む。	・パスがキャッチできない ・パスをうまく投げられない ・パスを出すタイミングが掴めない ・パスをもらう位置がわからない	・「両手を開いておにぎり」 ・「フォロースルーをしっかりと」 ・「ボールは相手の胸元に」 ・「声が聞こえたらパスを出そう」 ・「ボールを持っている人の背中が見える位置についていこう」	①②④
展開 30分	○タグラグビーに繋がる練習(パス) ・3対2	・相手のいない所に走りパスをもらう。 ・ディフェンスを寄せてスペースを作る。 ・ランかパスかの選択を判断する。	・ディフェンスの動きが相手についていけない。 ・スペースを作る感覚がわからない。 ・ランかパスかの判断ができない。	・「一人じゃなくてチームで守ろう」 ・「相手を引きつけてだます動きを考えよう」 ・「まず自分の前が空いているか見よう。」 ・「迷ったら思い切り走ろう。」	①②④
	○試しのゲーム ・5分×3 試合	・相手のいない所に走りパスをもらう。 ・ディフェンスを寄せてスペースを作る。 ・ランかパスかの選択を判断する。 ・チームで考えた作戦を実行する	・チームで作戦が実行できない ・練習での動きが見られない。	・「作戦がうまくいかない理由を考えよう」 ・「うまくいった作戦をもう一度やってみよう。」 ・3対2の動きを例に挙げる。 ・良いプレーを取り上げてほめる。	①②④
まとめ 5分	整理運動 ふりかえり	・怪我の予防・疲労の軽減 ・今日の活動を振り返り、できたこと、課題点を確認する。 ・友達の頑張りに目を向ける。	・今日のふり返りからできたこと、課題点を見つけれられない。 ・友達の頑張りに目を向けられない。	・「作戦は成功したかな。うまくいった理由は何だろう、うまくいかなかった理由は何だろう」 ・児童の頑張っていた様子を伝える。	⑤